

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.4

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43880

134

大塚

大塚

大塚

大塚

大塚

大塚

大塚米商村地埋大塚合議事件

44.2.15 米商誌

2月15日大塚 米商村地埋大塚合議事件
白紙印刷に印刷、約1冊を複製したと云ふ。

先方、沖繩道選出議員12名に米商誌
は未だ印刷されており個人の意見として印刷

したとして、述べたことより再考を促す。

1. 基地の地位に付いて、換や自衛隊に付いて
本土並みでない取扱いを公にした場合

を以て日本国内の施設に際し此のmodeに
本元まで、基地の米商誌を最小限まで置く。

公にされたものは日本国内で、米商誌に
とるに止り、本土並みに取扱いする問題

に付いては、取扱いをいっぺんにやると云ふ

CA-6

外務省

と云ふことが、最も重要であるやうなところ。

2. 日本側としては、或一線以上は政府
からなれり、又或一線以上を公に約束

したと云ふmodeに、本元まで、米商誌を
置く、と云ふ一線か否か、あるから、

先方、先方、米商誌に指示し、先方、米商誌
に米商誌を返戻せしめる、と云ふ行方

が最も重要であるところ。

3. 本土には一つの態勢が生まれること
(注、朝鮮半島の件を含めて「本元」と

称している) 沖繩が先方、米商誌、と云ふ
こと、又、米商誌、米商誌、米商誌の意見

も、米商誌、米商誌、米商誌、米商誌、米商誌
が、米商誌、米商誌、米商誌、米商誌、米商誌

CA-6

外務省

要は、今の取決物は、日本国内で、無条件に
を認めたい。前提として、なにかあるはずだ。

それ以上のものは、必要ない。無条件に
やるべきのことは、両国の利益に合致する
と見ます。

4. 国合解散は、日本の問題であるが、今
は、国合の解散を前提として、議論を

進めたい。これは、日本の問題である。又
は、国合の解散を前提として、議論を

進めたい。これは、mandate である。今
は、国合の解散を前提として、議論を

と見ます。

5. 以上は、今の取決物は、日本国内で、無条件に
を認めたい。前提として、なにかあるはずだ。